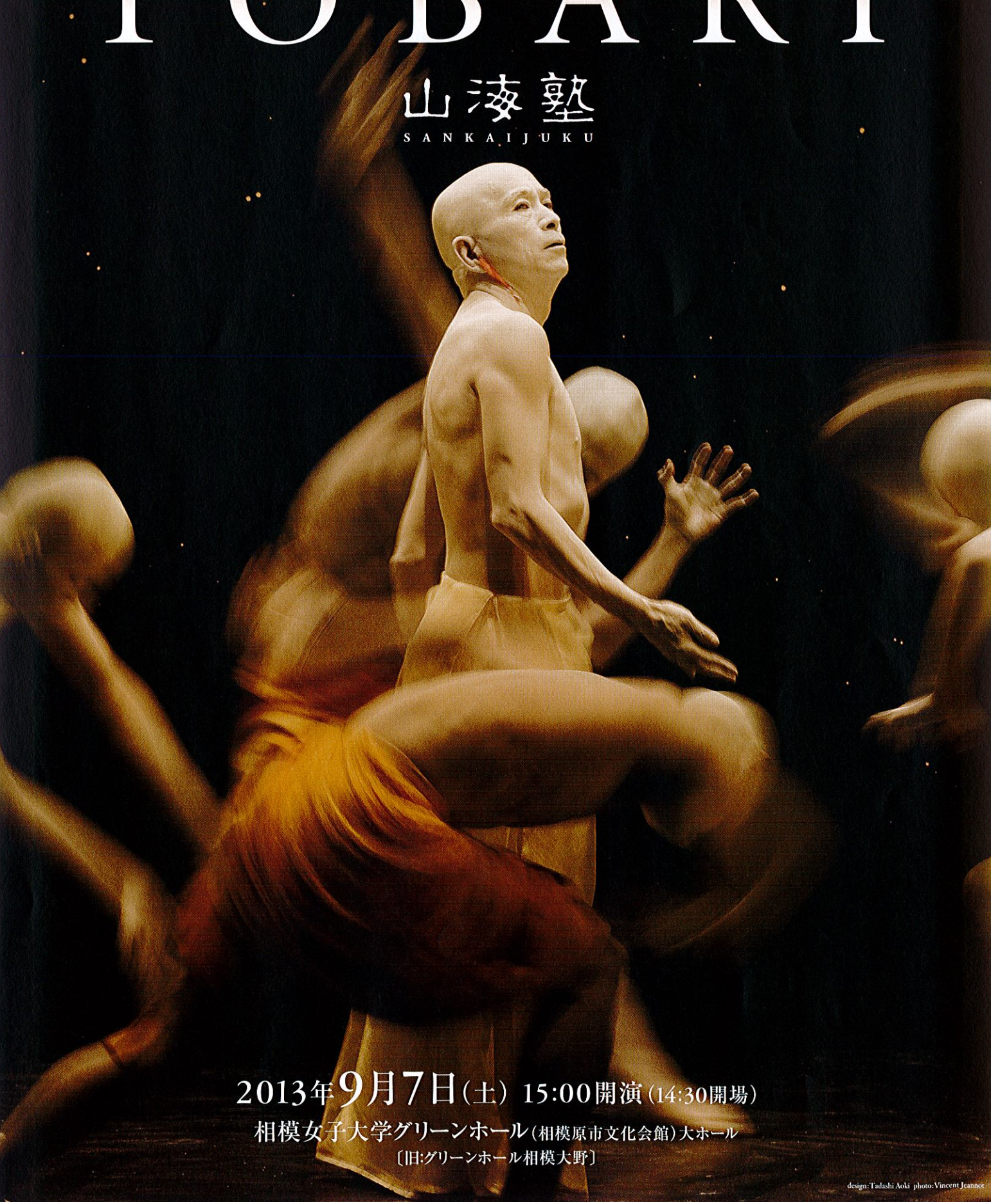


降りくるもののなかで—とぼり

# TOBARI

山葵塾

SANKAIJUKU



2013年9月7日(土) 15:00開演 (14:30開場)

相模女子大学グリーンホール(相模原市文化会館)大ホール  
〔旧:グリーンホール相模大野〕

世界44カ国で公演。舞踏・山海塾、3年ぶりの相模原公演。

降りくるもののなかで—とばり

# TOBARI

山海塾  
SANKAIJUKU

感情が移ろい、季節が変わり、時が止まることなく流れゆく——。

天児牛大は新作『降りくるもののなかで—とばり』において、そのストイックな詩格を大胆に変えた。ここで天児は7つのタブローの境目をたゆたう時空で融合し、生命の宇宙の輪廻天性を、止むことなく一方向に進む美しき1時間半の潮流として展開してみせる。

後方からは6,600個の星々の光が降り落ちる。舞台上の楕円内では2,200個の儚き命が発光する。

この無限の宇宙塵のなかに佇み、人の存在の虚しさにおののき、虚空に向かって無音の叫びを放つ天児の叙情的なソロ。

喜びも哀しみも、光も闇も、生も死も、ここではその仕切りが薄衣のとばりのように柔らかに揺らいでいる。

万物が交歓をかわす瞬間のつらなりにより、宇宙は静かに流れつづける。(K.I.)



【公演評】 こんなにも静かで風変わりな作品にもかかわらず、日本の振付家、天児牛大がこの『とばり』で観客の前にその圧倒的成功を勝ち取ったことは驚嘆に値する。今日多くの主張が、保守的な人々であれ、あるいは芸術を志向する若者たちであれ、オリジナリティーを追及するこの混迷の時代にあっても、この心癒される哲学的な作品に観客は思わず見入ってしまう。それは見えないもの対話しているようであり、またその踊りは壮麗な奇行にも思える。(ル・モンド)

「とばり」は、始めから終わりまで、忘れがたいイメージの集積である—芸術性や舞踏手のスキルは論じるまでもないほどに卓越している。(ニューヨークタイムズ)

2013年9月7日(土) 15:00開演(14:30開場)

ポストパフォーマンストークあり

相模女子大学グリーンホール(相模原市文化会館)大ホール

(旧:グリーンホール相模大野)

演出・振付・デザイン=天児牛大<sup>あまがうしお</sup> 音楽=加古隆、YAS-KAZ、吉川洋一郎

舞踏手=天児牛大、蟬丸、竹内晶、市原昭仁、長谷川一郎、松岡大

石井則仁、百木俊介

共同プロデュース=北九州芸術劇場、パリ市立劇場、山海塾

世界初演=2008年5月パリ市立劇場

前売発売 2013年6月16日(日)

チケット料金(全席指定)

一般=4,500円 学生(25歳以下)=2,500円

※学生、車椅子席、ベア席は、チケットMoveでの予約  
及び相模女子大学グリーンホール、相模原市民会館、  
社のホールはしもの各チケット・カウンターのみの取扱い

ベア席=8,000円 車椅子席=2,500円

チケット取扱

・チケットMove 042-742-9999(10:00~19:00)

・チケットぴあ 0570-02-9999

t.pia.jp Pコード: 429-438

・イープラス eplus.jp

・ローソンチケット 0570-000-777 Lコード: 39055

・CNプレイガイド 0570-08-9999

助成 =  協賛 = TOYOTA / HI/EIDO

主催 = 公益財団法人 相模原市民文化財団、山海塾

※6歳以上のお子様よりご入場いただけます。

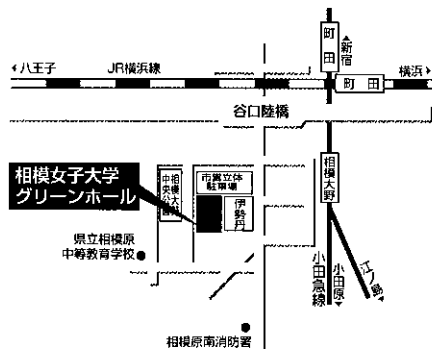
※託児サービスあり

こちらの公演には、託児サービス(生後6ヶ月以上/有料/  
受付は公演の一週間前まで)をご用意しております。

詳細は下記にお問合せ下さい。

◎お申込み先 長谷川キャリアサポート(株)

電話045-321-1388(平日9:00~18:00)



相模女子大学グリーンホール  
(相模原市文化会館)  
[旧:グリーンホール相模大野]

〒252-0303

神奈川県相模原市南区相模大野4-4-1

042-749-2200

http://www.hall-net.or.jp

小田急線相模大野駅北口徒歩4分